

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年4月13日

基本情報	事業名称		担当部署								
	会計事務費		部				係	審査係・出納係			
	[審査及び出納事務]		課	会計課			課長名	五十嵐 孝雄			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	行財政運営 1. 行財政運営、行政改革					第五次基本計画	153 ページ			
	1 施策	行財政 — 1 行財政運営、行政改革 ①					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☒ 市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ より一層の行政改革の推進					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ デジタル化の推進					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	2	項	1	目	5	事業番号	1	
開始年度	年度 ☒ 不詳			行政報告書		62 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市会計事務規則										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		伝票の審査及び出納事務								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	①歳入伝票及び支出伝票 ②公金（現金）及び物品（備品）				①歳入・歳出伝票を適正な状態にする。 ②適切に出納及び保管されている。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	①歳入・歳出手続の法令等に照らした確認、審査、及び各課への訂正依頼 ②歳入・歳出伝票の適切な処理、基金からの繰入金等の資金調達、指定金融機関等の検査 ③備品増減の処理				適正な審査及び処理を行い、公金及び物品の出納・保管を支障なく行った。						
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	11,900,549		11,797,121		16,416,081			
	財源	一般財源	円	11,900,549		11,797,121		16,416,081			
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
	人件費（目録）	所要人数（再任用以外）	人	3.5		4		4			
		所要人数（再任用）	人	1		1		1			
		職員人件費（再任用以外）	円	29,330,000		33,000,000		32,640,000			
職員人件費（再任用）		円	3,020,000		3,020,000		3,007,000				
事業費+人件費		円	44,250,549		47,817,121		52,063,081				
4 課題	(1) 令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	審査事務の軽減及び出納事務における合理化（デジタル化）										
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	歳出事務において、紙媒体の払戻請求書と小切手を使用することなく、オンライン支払ができるように東大和市会計事務規則を改正した。（デジタル化）										
	(3) (2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
審査事務の軽減及び出納事務における更なる合理化（デジタル化）											
5 今後の方向性	(1) 仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	歳出事務において、払戻請求書及び小切手を使用せずに支払ができるシステムの導入を図り、引続き、歳出事務のデジタル化を推進していく。										
	(2) 上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										
パソコン等の機器を購入し、指定金融機関とシステムの導入に向けて調整していく。											